

令和3年度 第1回印西市安全で安心なまちづくり協議会 概要説明

議題1 刑法犯認知件数について

千葉県内の刑法犯認知件数は、直近10年間では最多だった平成24年の80,802件をピークに以降は減少傾向にあり、令和3年は32,638件と平成24年の半分以上に減少しております。

印西市内では、直近10年間で最多は平成25年の1,164件で、以降は減少傾向にあり、令和3年は513件と平成25年の半分以上に減少しております。

しかし、減少傾向にある中でも、地域住民の体感治安を揺るがす窃盗や電話d e詐欺事件はとどまることなく発生し、依然深刻な状況となっております。

(別添資料No.1 及びNo.2 参照)

議題2 電話d e詐欺の発生状況について

令和3年中の千葉県内における電話d e詐欺の発生件数は1,103件、被害額は約26億円、令和2年と比較すると発生件数は減少しておりますが、被害額は増加傾向にあります。

印西市内においては、件数・被害額ともに増加しており深刻な状況です。

(別添資料No.2 参照)

議題3 街頭防犯カメラの運用状況について

印西市では平成22年度より整備をはじめ、令和4年2月末現在で計44台の防犯カメラ設置が完了しております。小林駅南口ロータリーにつきましては、駅前広場整備の進捗状況を見ながら、令和6年度に設置を行う予定であります。

防犯カメラの画像提供につきましては、全て警察からの刑事訴訟法に基づく照会によるものです。直近3年間では、令和元年度に6件、令和2年度に11件、令和3年度は6件(令和4年2月末まで)の提供を行っております。

(別添資料No.3 参照)

議題4 令和3年度における防犯施策実施状況について

令和3年度の防犯施策でございますが、長引くコロナ禍という制限のある中でも、資料にありますように、市内のパトロールや防犯講話の実施、防犯啓発物品の作成や配布などの施策を実施し、市民の防犯意識向上を図ってまいりました。

(別添資料No.4 参照)

議題5 令和4年度における防犯施策について

次年度も、新型コロナウイルスの感染対策・予防に留意しながら、資料に記載しました防犯施策を推進してまいりたいと考えております。

(別添資料No.5 参照)